

道徳だより 「清明（せいめい）」 第8号

令和7年12月23日発行
美川中学校道徳係

11月14日（金）に本校が県より指定された「いしかわ道徳教育推進事業」の研究発表会がありました。公開授業を行った3クラスのうち、今回は3年1組の授業の様子をお伝えします。

○3年1組 道徳公開授業

<内容項目>

B 他の人との関わり 相互理解、寛容

<教材名> 「しあわせ」



<あらすじ>

タマゴマンはマーク豆腐が好きじゃないが、アナゴマンは誕生日に食べたいほどの好物だと言う。その会話を聞いていた先生は、宮沢賢治の「世界中の人が幸福にならない限り個人の幸福はありえない。」という言葉について、給食を材料にして考えてみるよう投げかけた。しあわせについて、みんなで話し合ううちに、それぞれ考え方方がちがうことにタマゴマンは気づく。「みんなの考え方のちがいを知ることが、全体のしあわせを考えるスタートです。」と先生はしめくくった。

<発問> 1 「他者と違う考え方を持っていても、みんながしあわせになることはできるか」
2 「違う考え方を持っていてもみんながしあわせになるためには、どんな考え方でいるといいのか」



<授業の様子>



<生徒のワークシートより> 「みんながしあわせになるためには」について考えたこと

- ・みんなが同時に、幸せを感じるのはすごく難しいことだと思った。だけど、体育祭や合唱の時はきっと多くの人が幸せを感じた時間だと思うから、数少ないこういう時間を大切にしたいと思った。卒業までにまたそんな時間があるといいなと思った。
- ・この話を読んで、考えてみても、僕はまだモヤモヤしている。他人と自分の幸せが違えば、みんなが幸せになるための考え方も違うから。どれが正解なのかよく分からなかった。
- ・みんなが幸せになるのは難しいことだけど、他人に合わせようとする気持ちを持つと、少し相手は楽になるかなと思った。でも、自分も幸せになるために、自分の意見を主張していかなければならないと思った。
- ・みんなが幸せになるためには、相手の考え方を理解し、尊重し合うことが大切だと思った。完全にみんなが幸せになることは、難しいかもしれないけど、お互いを知ることが大切だと思った。
- ・他の人の意見も大切にして、思いやりを持つことが大切だということがわかった。